



高等学校 令和4年度（1学年用）教科 工業（インテリア） 科目 インテリア実習

教科：工業（インテリア） 科目：インテリア実習 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 インテリア科 2パート・2サイクル

教科担当者：森田 聡 喜多崎 薫

使用教科書：（ ）

教科 工業（インテリア） の目標：

【知識及び技能】 インテリアの基礎的な知識や技術を習得し、作業工程を把握して安全に作業ができるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 自ら課題を発見し、自分の力で解決することができるようにする

【学びに向かう力、人間性等】 インテリアに関する基礎的な知識や技術の向上を目指して、インテリア産業の発展に主体的かつ協働的に取

科目 インテリア実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・インテリアの技術に関する実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする	・インテリアの技術に関する課題を発見し、インテリアに関わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う	・インテリアに関する技術の向上を目指して自ら学び、インテリア産業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	・用具の使い方についての学習 ・構図・構成についての学習 ・ものの見方・考え方についての学習 の特性を習得できるようにする。	平面構成による デザイン感覚養成 ・ 鉛筆デッサンによる 描写表現 ・ パソコンによる デザイン操作と感覚養成	・用具の使い方・構図・構成に関する基礎的な知識と技能を習得し、ものの見方・考え方について理解できる。	○	○		10
	・基礎的な表現方法の学習 ・講評（伝達表現の基礎）		・表現及び伝達に関する基礎的な知識・技能を習得し、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	・用具やパソコンの使い方についての学習 ・構図・構成についての学習 ・ものの見方・考え方についての学習		・用具の使い方・構図・構成に関する基礎的な知識と技能を習得し、ものの見方・考え方について理解できる。	○	○		10
	・基礎的な表現方法の学習 ・講評（伝達表現の基礎）		・表現及び伝達に関する基礎的な知識・技能を習得し、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
2 学 期	・アイデアの出し方・考え方についての学習 ・表現方法についての学習	平面構成による デザイン感覚養成 ・ 鉛筆デッサンによる 描写表現 ・ パソコンによる デザイン操作と感覚養成	・アイデアの出し方・考え方に関する基礎的な知識・技能を習得し、表現方法について理解できる。	○	○		10
	・構成表現の効果についての学習 ・構成の仕上げについての学習		・構成表現及び仕上げに関する基礎的な知識・技能を習得し、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	・アイデアの出し方・考え方についての学習 ・表現方法についての学習		・アイデアの出し方・考え方に関する基礎的な知識・技能を習得し、表現方法について理解できる。	○	○		13
	・構成表現の効果についての学習 ・構成の仕上げについての学習		・構成表現及び仕上げに関する基礎的な知識・技能を習得し、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
3 学 期	・レタリングと構成についての学習（平面表現） ・プレゼンテーションについての学習（造形表現）	文字と平面構成 ・ プレゼンテーション	・レタリングと構成、及びプレゼンテーションに関する基礎的な知識・技能を習得し、表現方法について理解できる。	○	○		10
	・レタリングと構成についての学習（平面表現） ・プレゼンテーションについての学習（造形表現）		・レタリングと構成、及びプレゼンテーションに関する基礎的な知識・技能を習得し、表現方法について理解できる。	○	○		10
	・レタリングと構成についての学習（平面表現）のまとめ ・プレゼンテーションについての学習（造形表現）のまとめ		・学年のまとめとして、レタリングと構成、及びプレゼンテーションについて基礎的な知識・技能を習得し、インテリア産業の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10 合計 117

高等学校 令和4年度（1学年用）教科 工業（インテリア） 科目 インテリアエレメント生産

教科：工業（インテリア） 科目：インテリアエレメント生産 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 インテリア科

教科担当者：森田 聡

使用教科書：（インテリアエレメント生産）

教科 工業（インテリア） の目標：

【知識及び技能】 インテリアの基礎的な知識や技術を習得し、作業工程を把握して安全に作業ができるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 自ら課題を発見し、自分の力で解決することができるようにする

【学びに向かう力、人間性等】 インテリアに関する基礎的な知識や技術の向上を目指して、インテリア産業の発展に主体的かつ協動的に取

科目 インテリアエレメント生産 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・インテリアエレメントの生産について住生活を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする	・インテリアエレメントの生産に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う	・住生活の変化に対応したインテリアエレメントを生産する力の向上を目指して自ら学び、インテリア産業の発展に主体的かつ協動的に取組む態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・インテリア材料の（木材・木質材料・金属・テキスタイル・プラスチック等）の特性を習得できるようにする。	・インテリア材料と加工 ・木材と木質材料 ・木材の性質	・インテリア材料に関する基礎的な知識と技能を習得し、エレメントを生産について理解できる。	○	○		6
	・木材・木質材料の性質および加工法の基礎を習得し、インテリアエレメントの生産ができるようにする。	・木質材料 ・木材加工の基礎	・木材・木質材料の性質および加工法の基礎的な知識・技能を習得し、インテリアエレメントの生産ができる。	○	○		7
	定期考査 ・インテリア材料、及び木材・木質材料の性質および加工法	・インテリア材料、及び木材・木質材料の性質および加工法について主体的かつ協動的にまとめ、取	・インテリア材料、及び木材・木質材料の性質および加工法についてまとめ、主体的かつ協動的に取り組もうとしている	○	○	○	1
	・人体系家具、準人体系家具、収納系家具等の機能分類と様式、材料、構造、システムを習得できるようにする	・インテリアエレメントの構造 ・家具の分類	・人体系家具、準人体系家具、収納系家具の機能分類と様式、材料、構造、システムについての知識・技能を習得し、インテリアエレメントの生産について理解できる。	○	○		8
	・それぞれの様式、材料、構造、システムについて自ら学び、インテリア産業の発展に主体的かつ協動的に取り組めるようにする。	・椅子ベッド ・机テーブル ・収納家具	・それぞれの様式、材料、構造、システムについて知識・技術を習得し、インテリア産業の発展に主体的かつ協動的に取り組めるようにする。	○	○	○	6
	定期考査 ・1学期のまとめ	・1学期のまとめについて主体的かつ協動的にまとめ、取り組む	・1学期のまとめについて、主体的かつ協動的に取り組もうとしている。	○	○	○	1
2 学 期	・空間部の遮断と開閉・採光・換気・音・熱等についてインテリアの空間での活用と、その役割を習得できるようにする。	・建具の分類 ・内部用建具 ・外部用建具	・空間部の遮断と開閉・採光・換気・音・熱等についての基礎的な知識・技能を習得し、インテリアの空間での活用と役割を理解できる。	○	○		7
	・接着の基礎と木材の接着性に関わる条件を学習し、家具の接着剤の性能と使用法を習得できるようにする。	・接着 ・接着の基礎	・接着の基礎と木材の接着性について知識・技能を習得し、家具制作における接着剤の性能と使用法について理解できる。	○	○		7
	定期考査 ・インテリアの空間、及び接着剤の性能と使用法	・インテリアの空間、及び接着剤の性能と使用法について主体的かつ協動的にまとめ、取り組む	・インテリアの空間、及び接着剤の性能と使用法についてまとめ、主体的かつ協動的に取り組もうとしている。	○	○	○	1
	・接着の基礎と木材の接着性に関わる条件を学習し、家具の接着剤の性能と使用法を習得できるようにする。	・接着剤 ・接着用具	・接着の基礎と木材の接着性に関わる条件を学習し、家具の接着剤の性能と使用法を習得できる。	○	○		8
	・表面処理（塗装）の基礎と被塗物の塗装に関わる条件を学習し、家具への塗装適性と使用法を習得できるようにする。	・表面処理 ・塗装 ・塗装の種類	・表面処理（塗装）の基礎と被塗物の塗装に関わる条件を学習し、家具への塗装適性と使用法を習得できる。	○	○		6
定期考査 ・1・2学期のまとめ	・1・2学期のまとめについて主体的かつ協動的にまとめ、取り組む	・1・2学期のまとめについて、主体的かつ協動的に取り組もうとしている。	○	○	○	1	
3 学 期	・表面処理（塗装）の基礎と被塗物の塗装に関わる条件を学習し、家具への塗装適性と使用法を習得できるようにする。	・塗装用具 ・塗装以外の表面処理	・表面処理（塗装）の基礎と被塗物の塗装に関わる条件を学習し、家具への塗装適性と使用法を習得できる。	○	○		6
	・木材加工や金属加工の代表的な工作機械の基本を学習し、安全作業等の応用も含め学習できるようにする。	・生産技術 ・木材加工用機械 ・生産計画	・木材加工や金属加工の代表的な工作機械の基本を学習し、安全作業等の応用も含め習得できる。	○	○		8
	・製品の生産に関わる計画、管理、工程、安全等の基礎を習得できるようにする。	・工程管理 ・家具生産の工程	・製品の生産に関わる計画、管理、工程、安全等について知識・技能を習得し、インテリア産業の発展に主体的かつ協動的に取組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査 ・学年のまとめ	・学年のまとめについて主体的かつ協動的にまとめ、取り組む	・学年のまとめについて、主体的かつ協動的に取り組もうとしている。	○	○	○	合計 79



# 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	齋藤俊博		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	インテリア製図		
使用教科書	インテリア製図		
指導学年・学科	2学年インテリア科		
単位数	3単位(前期・後期2パート)		
科目の目標	1学年の基礎製図(JISやISO)を意識し、インテリア・建築製図を習得する。 また、着彩やパースの基礎を身につける。		
評価の観点	<情意> インテリア・建築製図への関心と意欲的な取組み <知力> 木造在来軸組の知識・家具製図の習得 <技能> 製図と表現およびパースの技術的な習得 <認知> インテリア・建築製図に関する理解		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時 間数
4月	・センターテーブルの 製作図	センターテーブルの製作製図を学び、木材加工の技術との関連をづけて学ぶ。	10
5月	・センターテーブルの パース描画・着彩	完成予想図としての家具単体のパース(有角透視図法)の図法を学ぶ。 木材の表現技法や透明水彩の着彩技術を学ぶ。	12
6月	・建築製図の基礎 ・木造平屋建て住宅の 平面図	インテリア製図と建築製図の違いを学ぶ。 柱心での製図法や、縮尺の違いによる平面表示記号などの違いを学ぶ。	10
7月	・木造平屋建て住宅の 矩計図	建具や内装、収まりなどの詳細を学ぶ。	10
8月			
9月	・木造平屋建て住宅の 断面図	木造住宅の全体的な断面(高さ)の知識を学ぶ。	10
10月	・木造平屋建て住宅の 立面図	平面図と断面図の知識を利用し、立面図を描く技術を学ぶ。	12
11月	・センターテーブルの 製作図	～繰り返し～ センターテーブルの製作製図を学び、木材加工の技術との関連をづけて学ぶ。	13
12月	・センターテーブルの パース描画・着彩	完成予想図としての家具単体のパース(有角透視図法)の図法を学ぶ。 木材の表現技法や透明水彩の着彩技術を学ぶ。	10
1月	・建築製図の基礎 ・木造平屋建て住宅の 平面図	インテリア製図と建築製図の違いを学ぶ。 柱心での製図法や、縮尺の違いによる平面表示記号などの違いを学ぶ。	10
2月	・木造平屋建て住宅の 矩計図	建具や内装、収まりなどの詳細を学ぶ。	10
3月	・木造平屋建て住宅の 断面図	木造住宅の全体的な断面(高さ)の知識を学ぶ。	10
		合計	117

# 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日課程

担当者教員名	(A)竹野 秀治 松本 和樹 ・ (B)青柳 俊政 田中 慎一		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	インテリア実習 (A・B)		
使用教科書			
指導学年・学科	2学年インテリア科		
単位数	A:2単位 B:3単位 (前後期交代で通年では2.5単位となる)		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリアエレメントの代表例を製作から塗装することによりエレメント生産の総合的な習得をする。</li> <li>・塗装材料や塗装技術の基礎とスプレーガンを使つての機械塗装を学ぶ。</li> <li>・引き出し付箱を木工具を利用し製作する。</li> </ul>		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素材から仕上げまでのエレメント生産の総合的な流れを理解できたか。</li> <li>・木材加工技術の習得とインテリアの施工での仕様・活用法の理解ができたか。</li> <li>・塗装技術及び技能の基礎基本の習得とその応用ができたか。</li> </ul>		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	フィニッシュワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年で製作した照明器とツールと、2年で製作した引き出し付小箱を、2種類から選択した方法で塗装し、その基礎を習得させる。</li> <li>・素地調整・着色の基礎的技術を習得させる。</li> </ul>	8
5月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・下塗り・中塗りの基礎的技術を習得させる。</li> <li>・仕上げ塗りの基礎的技術を習得させる。</li> <li>・レポートを課題としてまとめの学習を習得させる。</li> </ul>	11
6月	引き出し付箱の製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料木取り方法と基礎的技術を習得させる。</li> <li>・墨付け方法と基礎的技術を習得させる。</li> </ul>	8
7月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・部品加工方法と基礎的技術を習得させる。</li> </ul>	8
8月			
9月	引き出し付箱の製作 ・ 箱づくりのための 工具管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本体仮組み方法と基礎的技術を習得させる。</li> <li>・木材加工と平行して工具管理の基礎的技術を習得させる。</li> </ul>	10
10月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・調整・接着方法と基礎的技術を習得させる。</li> </ul>	10
11月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕上げ、本体完成について習得させる。</li> </ul>	10
12月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き出し加工・調整・接着方法と基礎的技術を習得させる。</li> </ul>	9
1月	引き出しの塗装	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素地調整・着色の基礎的技術を習得させる。</li> <li>・工具管理の基礎的技術を習得させる。</li> </ul>	8
2月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・下塗り・中塗りの基礎的技術を習得させる。</li> <li>・工具管理の基礎的技術を習得させる。</li> </ul>	8
3月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕上げ塗りの基礎的技術を習得させる。</li> <li>・レポートを課題としてまとめの学習を習得させる。</li> </ul>	8
合計			98

# 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名		田中 慎一	
教科の名称		工業(インテリア)	
科目の名称		インテリア実習A	
使用教科書			
指導学年・学科		2学年インテリア科	
単位数		2単位(前期・後期2パート)	
科目の目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>水彩絵具による質感表現を主とする描画能力の養成</li> <li>デザインにおける構成の原理を学習する</li> </ul>	
評価の観点		<ul style="list-style-type: none"> <li>指示された様式を守り、丁寧な作業が行えたか</li> <li>透明水彩を用いた質感表現が向上したか</li> <li>デザインにおける構成の要素の内容を理解し、造形力が向上したか</li> </ul>	
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	素材表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>レタリング</li> <li>モチーフとなる素材の収集</li> <li>鉛筆による下描き</li> </ul>	6
5月		<ul style="list-style-type: none"> <li>質感(テクスチャ)を観察して描く</li> <li>陰影をつけた素材表現</li> <li>水彩絵の具による表現</li> </ul>	6
6月		<ul style="list-style-type: none"> <li>イラストレーションボードに各素材を貼り、完成させる</li> </ul>	8
7月	構成の要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>造形表現の原理を学ぶ</li> <li>構成の要素による表現:4種類の要素を切り紙によって製作する</li> </ul>	4
8月			
9月	構成の要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成の要素による表現:4種類の要素を切り紙によって製作する</li> <li>制作物のプレゼンテーション</li> </ul>	6
10月	素材表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>レタリング</li> <li>モチーフとなる素材の収集</li> <li>鉛筆による下描き</li> </ul>	8
11月		<ul style="list-style-type: none"> <li>質感(テクスチャ)を観察して描く</li> <li>陰影をつけた素材表現</li> <li>水彩絵の具による表現</li> </ul>	8
12月		<ul style="list-style-type: none"> <li>イラストレーションボードに各素材を貼り、完成させる</li> </ul>	7
1月	構成の要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>造形表現の原理を学ぶ</li> <li>構成の要素による表現:4種類の要素を切り紙によって製作する</li> </ul>	6
2月		<ul style="list-style-type: none"> <li>構成の要素による表現:4種類の要素を切り紙によって製作する</li> </ul>	8
3月		<ul style="list-style-type: none"> <li>制作物のプレゼンテーション</li> </ul>	6
		合計	73

## 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	松本和樹		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	情報技術基礎		
使用教科書	情報技術基礎		
指導学年・学科	2学年インテリア科		
単位数	2単位(前期・後期2パート)		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリアの伝達手段として使用するコンピューターソフトの操作方法を理解する</li> <li>・店舗設計における設計の基礎知識を理解する</li> <li>・模型製作に必要な技術・知識を習得する</li> </ul>		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CADの一般的なコマンドを理解し、使用できるか</li> <li>・商業形態を理解し空間計画が行えたか</li> <li>・人体寸法に準じた模型製作が行えたか</li> </ul>		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	空間計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケール感、動作空間・単位空間、人体寸法について理解する</li> <li>・ホワイトモデルの位置づけを理解する</li> </ul>	2
5月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計の工程を理解する</li> <li>・RC造を想定した店舗を計画する</li> </ul>	6
6月	図面作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CADで平面図を作成する</li> <li>・CADで立面図を作成する</li> </ul>	10
7月	模型製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縮尺1/50の模型を製作する</li> <li>・製作工程やスケール感、空間理解を深める</li> </ul>	4
8月			
9月	模型製作・撮影	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模型の撮影方法を理解する</li> </ul>	8
10月	空間計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケール感、動作空間・単位空間、人体寸法について理解する</li> <li>・ホワイトモデルの位置づけを理解する</li> </ul>	6
11月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計の工程を理解する</li> <li>・RC造を想定した店舗を計画する</li> </ul>	8
12月	図面作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CADで平面図を作成する</li> <li>・CADで立面図を作成する</li> </ul>	4
1月	模型製作・撮影	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縮尺1/50の模型を製作する</li> </ul>	6
2月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作工程やスケール感、空間理解を深める</li> </ul>	8
3月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・模型の撮影方法を理解する</li> </ul>	2
		合計	64

# 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	齋藤 俊博		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	情報技術基礎		
使用教科書	情報技術基礎		
指導学年・学科	2学年インテリア科		
単位数	2単位(前期・後期2パート)		
科目の目標	インテリアの表現方法の一つとして3次元CGの基礎を学ぶ		
評価の観点	3次元CGの基本的概念を理解できたか 空間におけるスケール感を獲得できたか		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時 間数
4月	CGによる室内表現	「マイホームデザイナー」を用いて平屋建て住宅を設計し、その中でインテリアのコーディネートや間取りのノウハウを体験する。また、3次元のCGモデルについて理解を深める	6
5月			8
6月	3次元CGによる小空間のデザイン	CGソフト「form-Z」を使い3次元CGの基礎を学ぶ。「form-Z」は建築用として一般的なモデラーである。	8
7月	①基本操作 ②アイデアスケッチ ③躯体の製作 ④質感の設定	立体の立ち上げ・移動・複写・変形・ 雰囲気統一感に注意しながら 素材の違いに注意しながら、正確に躯体をモデリングする。 色・反射・透明度等のパラメーターを設定する。	6
8月			
9月	⑤照明の設定 ⑥印刷・出力	平行光・スポットライト等の光源を入れて影の設定をする。 フォトショップで名前を入れてA4に印刷する。	7
10月	CGによる室内表現	「マイホームデザイナー」を用いて平屋建て住宅を設計し、その中でインテリアのコーディネートや間取りのノウハウを体験する。また、3次元のCGモデルについて理解を深める	8
11月			8
12月	3次元CGによる小空間のデザイン ①基本操作	CGソフト「form-Z」を使い3次元CGの基礎を学ぶ。「form-Z」は建築用として一般的なモデラーである。 立体の立ち上げ・移動・複写・変形・	7
1月	②アイデアスケッチ ③躯体の製作	雰囲気統一感に注意しながら 素材の違いに注意しながら、正確に躯体をモデリングする。	6
2月	④質感の設定	色・反射・透明度等のパラメーターを設定する。	8
3月	⑤照明の設定 ⑥印刷・出力	平行光・スポットライト等の光源を入れて影の設定をする。 フォトショップで名前を入れてA4に印刷する。	6
		合計	78

# 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	松本和樹		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	インテリア計画		
使用教科書	インテリア計画		
指導学年・学科	2学年インテリア科		
単位数	2単位		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリア計画に関わる基礎から専門分野までの内容を幅広く学習し、インテリアを読み解き、設計を行なう上での必要な基礎的な知識と技術を習得する。</li> <li>・生活の質について考え、インテリアに関する仕事や関連する職業資格への興味関心を深める。</li> </ul>		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリア計画に関する基礎的な知識と技術を理解したか。</li> <li>・生活全般との関連を理解し活用できるか。</li> </ul>		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	・インテリア計画の概要 ・空間の認知	・近代インテリア史を学び現代のライフスタイルがいかに形成されたかを習得する。 ・インテリアの概念・計画・生活と住まい・住まいの性能について習得する。	3
5月	・空間行動の諸相	・空間定位・スケール感・開放感と閉鎖感等について習得する。 ・空間行動、人と人との距離について学習する。	7
6月	・インテリアの環境と 住まいの性能	・屋内や屋外の環境によって住まいに対する要求条件をいかに満たすかを習得する。	7
7月		・採光、照明、音、熱、空気についてインテリア空間における要求条件をいかに充足するか 習得する。	4
8月			
9月	インテリアと人間工学	・人間工学、その意味について学習し、インテリアに関する寸法との関わりを習得する。	8
10月		・人体寸法について学習し、生活空間や家具の寸法の関わりを習得する。	6
11月		・動作、作業域、動作空間、家具の分類、機能寸法について学習する。	6
12月	インテリアの安全	・住まいにおける安全、日常災害、シックハウス症候群について学び、計画における安全対策を習得する。	4
1月	寸法計画	・空間の計画、人体寸法単位空間の動作寸法を含む寸法計画が理解出来ているかを 確認する。	6
2月	モデューラ コーディネーション	・モデューラコーディネーションが理解出来ているかを確認する。	7
3月	空間計画	・住宅、事務所、商業施設などの空間構成を学習する。	4
		合計	62

# 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	斎藤俊博		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	インテリア装備		
使用教科書	インテリア装備		
指導学年・学科	2学年インテリア科		
単位数	2単位		
科目の目標	建築物やインテリアの構造や仕上げ、設備に関する基礎的な知識と技術を学習し、実際に活用する能力と態度を育てる。		
評価の観点	主要な建築構造(木造・鉄骨造・RC造等)を理解できたか。 内装の材料や工法について理解し、設計に役立てられるか。 住宅内の主要な設備について理解できたか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	建築の構造	木造を中心として、現在一般に用いられている建築物の基本構造について解説する。同時に日々進歩していく技術や工法、問題になっている事象についても随時解説する。	6
5月	①木構造 地業と基礎 軸組 床組 小屋組み	木構造の基本的な仕組みと、各部の名称を写真や図と共に理解する。また固有の寸法体系についても学ぶ。	8
6月	②鉄骨構造 鋼材の接合 基礎 骨組 耐火被覆	鉄骨構造の基本的な仕組みと、各部の名称を写真や図と共に理解する。鋼材の接合方法についても理解を深める。	8
7月	③鉄筋コンクリート 構造 材料と施工 主体構造 防水	鉄筋コンクリート構造の基本的な仕組みと、各部の名称を写真や図と共に理解する。特にコンクリートの特徴と施工法も理解する。	6
8月			
9月	④鉄骨鉄筋 コンクリート	床・壁・天井といった室内の仕上げと詳細とその下地や施工法などを解説する。模型や実物の写真なども効果的に用いる。	7
10月	インテリアの施工法		8
11月	①床の下地と仕上げ ②壁の下地と仕上げ ③造作	床の構造を仕上げ材と関連させて理解する。 壁の構造を躯体の構造や仕上げ材と共に理解する。 和風・洋風の造作の違いや、数寄屋造り書院造りの名称を学ぶ	8
12月	④天井の下地と仕上	天井の構造を仕上げ材の違いと関連させて学ぶ。	7
1月	⑤開口部・階段	開口部の構造や寸法体系を理解する。	6
2月	インテリア材料	建築を具体化する材料について、構造と施工法の内容の中で随時解説していく。	8
3月			6
合計			78

## 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名		田中 慎一	
教科の名称		工業(インテリア)	
科目の名称		選択 色彩	
使用教科書			
指導学年・学科		2学年インテリア科	
単位数		2単位	
科目の目標		グラフィック・プロダクト・空間デザインにおける色彩の学習 色彩理論をもとにした平面作品の制作	
評価の観点		色彩の理論や役割、知識について理解ができたか 色彩理論を効果的に用いて制作を行えたか	
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	配色の研究	世の中のデザインにおける配色を学ぶ	6
5月	配色と効果	配色によって表されるイメージについて考える	8
6月	色彩構成	配色理論をもとに、自分のイメージを表現する	8
7月	色の見え方	科学的な色彩の理論について学ぶ	6
8月			
9月	色彩調和	配色の考え方 色相の配色 トーン配色・明度配色・彩度配色	7
10月	ファッションとインテリア	ファッションの色彩 インテリアの色彩	8
11月	陰影表現	陰影のできかたについて観察する	8
12月	ベンカ図	色彩理論を用いた人物の平面構成	7
1月	平面構成②	モチーフを画面の効果を考えながら構成する	6
2月		画面のバランスを考えながら配色する	8
3月		仕上げ作業	6
		合計	78

# 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	川合 まさ子		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	福祉住環境A		
使用教科書			
指導学年・学科	2学年インテリア科(選択)		
単位数	2単位		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリアに関わる分野を総合的に把握し、高齢者・障害者への視点を持ちながら住宅などの設計に応用できる力を身につける。</li> <li>・具体的目標として「福祉住環境コーディネーター3級」の全員の合格を設定する。</li> </ul>		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉住環境コーディネーター3級の受検合格</li> <li>・介護の現状を理解出来たか</li> <li>・福祉社会における自己の目標を設定出来たか</li> </ul>		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	バリアフリーとユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーとユニバーサルデザインを考える</li> <li>・生活を支えるさまざまな用具</li> </ul>	6
5月	暮らしやすい生活環境をめざして	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢社会と共生社会への道</li> <li>・福祉住環境整備の重要性、必要性</li> <li>・在宅生活の維持とケアサービス</li> </ul>	8
6月	健康と自立を目指して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の健康と自立</li> <li>・障害者が生活の不自由を克服する道</li> </ul>	8
7月	安全・安心・快適な住まい①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいの整備のための基本技術</li> </ul>	6
8月			
9月	安全・安心・快適な住まい②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活行為別に見る安全、安心、快適な住まい</li> </ul>	7
10月	安心できる住生活とまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフスタイルの多様化と住まい</li> <li>・安心できる住生活について学習する。</li> <li>・模擬問題演習</li> </ul>	8
11月	安心できる住生活とまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して暮らせるまちづくり</li> <li>・地域で取り組む福祉のまちづくりの実例を学習する。</li> <li>・福祉住環境コーディネーター検定試験事前指導</li> <li>・模擬問題演習(問題と解説)</li> </ul>	8
12月	福祉住環境演習(調べ学習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定試験後の自己採点</li> <li>・福祉用具の種類と、介護保険で利用できるサービスを、ペア学習で調べる。</li> </ul>	7
1月	福祉住環境演習(調べ学習・発表)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉用具の種類と、介護保険で利用できるサービスを、ペア学習で調べる。</li> <li>・プレゼンテーション形式にまとめ、発表リハーサルと本番まで一貫して行う。</li> </ul>	6
2月	福祉住環境演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段差と転倒について住まいの整備のための基本技術を学ぶ。</li> </ul>	8
3月	住宅の提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉住宅・施設の現状を知る。</li> <li>・介護者のいる住宅設計の提案と発表</li> </ul>	6
		合計	78

## 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	松本和樹		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	課題研究(模型班)		
使用教科書			
指導学年・学科	3学年インテリア科		
単位数	4単位		
科目の目標	ライフスタイル、生活志向に関するリサーチを行い、自らテーマを設定し、住宅とそのインテリアに関する提案を行う。		
評価の観点	<情意> リサーチの内容が自分の提案を裏付ける内容となっているか <知力> 設定したテーマが提案性の高いものとなっているか <技能> インテリア計画に関する知識、技術が実践的に活用出来たか <認知> 提案を提示する上での確かなプレゼンテーションが行われたか		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間 数
4月	テーマの設定 初期設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族像、住宅の形式、規模、立地、現代のライフスタイルの傾向からテーマを設定する</li> <li>・提案内容を踏まえた設計図面を作成する</li> </ul>	4
5月	ホワイト模型作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計図面を模型化し、設計確認を行う</li> </ul>	16
6月	プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマとその計画について、授業内でプレゼンテーションを行う</li> <li>・意見を出し合い、計画を見直す</li> </ul>	16
7月	テーマの設定・決定 図面作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイト模型製作からの考察をもとに、再度研究テーマや設計を見直す</li> <li>・提案内容を踏まえた設計図面を作成する</li> </ul>	8
8月			
9月	完成模型の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案内容を提示するための模型の作成を行う</li> </ul>	16
10月	完成模型の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリアやエクステリア、その素材や計画にも考慮して模型を仕上げる</li> </ul>	16
11月	イラストレーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面計画をCADで描き、提案の説明イラストを描く</li> </ul>	16
12月	プレゼンテーション ボードの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提示したプランをプレゼンボードにレイアウトし、まとめる</li> </ul>	12
1月	プレゼンテーション シートの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーション用ソフトを使用しプレゼンテーションの視覚的効果を学ぶ</li> </ul>	12
2月	プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な展示計画・プレゼンテーションを学ぶ</li> </ul>	12
3月	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒展において住宅設計班として模型の提案を行う</li> <li>・そのための設営方法や展示計画を行う</li> </ul>	12
		合計	140

# 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	竹野秀治・森田 聡		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	課題研究(クラシックファニチャー班)・(モダンファニチャー班)		
使用教科書			
指導学年・学科	3学年インテリア科		
単位数	4単位		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラシックファニチャー・モダンファニチャーについて、体系的・系統的に理解し、相互に関連付けられた技術を身に付ける</li> <li>・家具制作に関する課題を発見し、独創的、かつ創造的に解決する能力を養う</li> <li>・課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う</li> </ul>		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;知識・技能&gt;家具設計、制作方法、及び機械加工に関する知識と技術の理解度</li> <li>&lt;思考力・判断力・表現力&gt;市場調査・コンセプト立案に基づくデザイン・設計などの総合的な判断・表現の度合い</li> <li>&lt;主体的に学習に取り組む態度&gt;家具設計、制作方法、及び機械加工への関心と主体的かつ協働的な取り組みの度合い</li> </ul>		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	家具の設計法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家具の歴史や市場調査を行いながら、家具デザイン・制作の意味を学ぶ</li> <li>・コンセプトに基づき、アイデアスケッチを描く</li> </ul>	12
5月	家具の製作製図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法や仕口、接手、及び工法を考察し、実際に使用できる家具の製作図を描く</li> </ul>	16
6月	ケーススタディー模型の製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模型を製作し、デザイン・設計の方向性を確認し、検討を重ねる</li> </ul>	12
7月	材料木取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木取りを通し、木工機械の基礎を学ぶ</li> </ul>	16
8月			
9月	荒木取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木取りを通し、木工機械の基礎を学ぶ</li> </ul>	14
10月	墨付け・木作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・墨付け・仕口などの手加工や木工機械を行い、木工具や木工機械の活用を学ぶ</li> </ul>	16
11月	機械加工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料に墨付け後必要に応じ、仕口などの部位を木工機械と手加工で加工する</li> <li>・木工具や木工機械の活用を学ぶ</li> </ul>	14
12月	手加工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終的な仕上げ作業では、手仕上げ(手加工)を学ぶ</li> </ul>	16
1月	塗装技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家具塗装の一連の流れである素地調整・下塗り・中塗り・仕上げ塗りを体得して学ぶ</li> </ul>	16
2月	プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な展示計画・プレゼンテーションを学ぶ</li> </ul>	12
3月	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒展において設営方法や展示計画を行い、各自の家具を提案する</li> </ul>	12
		合計	156

# 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	齋藤 俊博		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	課題研究(CG班)		
使用教科書			
指導学年・学科	3学年インテリア科		
単位数	4単位		
科目の目標			
評価の観点	自分で立てたコンセプトに沿って店舗のデザインがなされているかどうか。 コンピューターを発想の道具として利用できたかどうか。 3次元の空間を把握できているかどうか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	店舗の基本計画及び 躯体の設計	店舗を題材として、空間構成や質感を研究したのち、各自条件にしたがい、インテリアを設計・デザインする。設計にあたっては、見学や調査を繰り返し行い、新しく快適空間が提案できるよう留意する。また、途中では随時講評会を行い、発表能力も身につける。デザインは3次元CGソフト「form-Z」上に入力し、質感や照明の効果を確かめながらデータ化していく。 完成したデータを元に静止画を構成し、B2のパネルにまとめる。	12
5月			16
6月			12
7月	躯体のモデリング	設計した躯体をパソコンに入力し、質感を設定する。 質感作成に必要なデータは随時作成していく	16
8月			
9月	質感・光源の設定と 静止画によるプレゼン テーション	モデリングしたデータに質感と光源を設定する。 色・反射・透明度・マッピング・バンプなどの質感設定 平行光・スポットライト・点光源などの光源設定 背景・添景物 B2パネル2枚にまとめる	14
10月			16
11月			14
12月	動画の編集とプレゼン テーション	さらに、ウォクスルーアニメーションを制作、パソコン上のビデオ編集機により構成し、映像によるプレゼンテーションを行う。	16
1月	プレゼンテーション シートの作成	・プレゼンテーション用ソフトを使用しプレゼンテーションの視覚的効果を学ぶ	16
2月	プレゼンテーション	・効果的な展示計画・プレゼンテーションを学ぶ	12
3月	まとめ	・卒展において店舗設計班として店舗の提案を行う ・そのための設営方法や展示計画を行う	12
		合計	156

## 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	森田 聡 ・ 田中 慎一		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	インテリア実習A		
使用教科書			
指導学年・学科	3学年インテリア科		
単位数	3単位(2パート・2サイクル)		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリアに関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けようとする</li> <li>・インテリアの技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う</li> <li>・インテリアに関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う</li> </ul>		
評価の観点	<知識・技能>インテリアに関する描写手法・表現、及び造形、プレゼンテーションにおける知識と技術の理解度・習得度 <思考力・判断力・表現力>対象物の捉え方や造形力、伝達力などを総合的に考え、判断し、表現する習得度 <主体的に学習に取り組む態度>描写表現・造形・伝達への関心と主体的かつ協働的な取り組みの度合い		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	クロッキー・ スケッチ	・人体やその部位・、身の回りの日用品などを題材として、短時間での時間制約の中でクロッキーを行う。最終的には、じっくり描き込む練習も行う。	11
5月			10
6月	家具の着彩	・数種の家具などを構成して、想定空間設定し、透明水彩絵具を用いて着彩表現の演習を行う。	11
7月			10
8月			
9月	立体造形の構想	・テーマにおける各自のコンセプトを立案し、イメージや世界観をスケッチやスタディーモデルにて表現する。	11
10月			12
11月	立体造形の制作	・様々な材料を選択し、また用具や工法を工夫して、テーマ・コンセプトを伝達できるよう造形表現の基礎を習得させる。	12
12月			10
1月	プレゼンテーション	・テーマ・コンセプトをまとめ、分かりやすいデザインのプレゼンテーションボードを作成する。  ・立体造形作品・プレゼンテーションボードに基づき、プレゼンテーションを実施して他者への伝達の演習を行なう。	10
2月			11
3月			9
合計			117

# 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	喜多崎 薫 ・松本和樹		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	インテリア実習A		
使用教科書			
指導学年・学科	3学年インテリア科		
単位数	3単位(2パート・2サイクル)		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路を見据えた作品集(ポートフォリオ)の作成。自己の成長を伝える表現としてまとめる。</li> <li>・画像処理、ドローイング、プレゼンテーション系のアプリケーションソフトの操作技術を向上させる。</li> <li>・インテリアパースの着彩練習を通し、生活の場のインテリアコーディネートを理解する。</li> </ul>		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集と自己表現への関心と意欲的な取組み</li> <li>・表現に関する知識と技術の習得と適切な活用</li> <li>・着彩技術の知識の習得</li> </ul>		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	ポートフォリオの作成 (A班)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自が制作した作品の整理</li> <li>・撮影(作品の立体感が出る撮影)</li> <li>・平面作品のスキャナーによる取込み</li> </ul>	3
5月	※この内容を5週で行う。それを1パートとし、2ローテーションする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個性ある表現</li> <li>・プレゼンテーションの効果を考える</li> <li>・20ページ以上にまとめる</li> </ul>	9
6月	ポートフォリオの作成 (B班)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自が制作した作品の整理</li> <li>・撮影(作品の立体感が出る撮影)</li> <li>・平面作品のスキャナーによる取込み</li> </ul>	12
7月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個性ある表現</li> <li>・プレゼンテーションの効果を考える</li> <li>・20ページ以上にまとめる</li> </ul>	6
8月			
9月	インテリアパースの着彩 (A班)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリアの構成を考え、題材選ぶ</li> <li>・全体のイメージを崩さないように、着彩技術を駆使し表現する</li> </ul>	12
10月	※この内容を5週で行う。それを1パートとし、2ローテーションする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリアのスタイルによって家具の種類、素材、色合いなどの違いを学び、インテリアコーディネートに活かす</li> </ul>	9
11月	インテリアパースの着彩 (B班)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリアの構成を考え、題材選ぶ</li> <li>・全体のイメージを崩さないように、着彩技術を駆使し表現する</li> </ul>	9
12月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリアのスタイルによって家具の種類、素材、色合いなどの違いを学び、インテリアコーディネートに活かす</li> </ul>	6
1月	インテリアパースの着彩	卒業作品に見合うクオリティまで仕上げる	9
2月			11
3月			9
合計			95

## 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	喜多崎 薫		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	インテリア実習B(色彩)		
使用教科書			
指導学年・学科	3学年インテリア科		
単位数	3単位(4パート・2サイクル)		
科目の目標	デザインする目的を設定し、インテリアに関する訴求力のあるデザインを色彩と構成から提案できる力を身に付ける。		
評価の観点	各自が設定したコンセプトに沿ったデザイン制作の基礎的な知識と技術を理解したか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	コンセプトとデザイン	ターゲットとなるペルソナを設定し、訴求ポイントを明快にする。	11
5月	リサーチの理解と実際	マーケットリサーチを通してデザインする意味を探る。	10
6月	ファブリックデザイン	モチーフとなる画像を抽出しアイデアスケッチを展開し、下図を完成させる。	11
7月		カラーバリエーションを展開し、より訴求力のある色彩デザインを試みる。	10
8月			
9月	コンセプトとデザイン	ターゲットとなるペルソナを設定し、訴求ポイントを明快にする。	11
10月	リサーチの理解と実際	マーケットリサーチを通してデザインする意味を探る。	12
11月	ファブリックデザイン	モチーフとなる画像を抽出しアイデアスケッチを展開し、下図を完成させる。	12
12月		カラーバリエーションを展開し、より訴求力のある色彩デザインを試みる。	10
1月		ファブリックデザインを応用したインテリアデザインを提案する。	10
2月	デザイン展開	ファブリックデザイン・インテリア展開を総合し、プレゼンテーションボードを制作。プレゼンテーションの実施により、コンセプトが活かされたか判断する。	11
3月			9
		合計	117

# 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	田中 慎一		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	インテリア実習B(デッサン)		
使用教科書			
指導学年・学科	3学年インテリア科		
単位数			
科目の目標	デッサンの基礎・基本から発展までを学習する。 美術大学進学などの進路対策について対応する。		
評価の観点	形態や素材をよく観察しているか 構図の取り方、素材表現が向上したか		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	<1パート> デッサンとは何か 鉛筆デッサン 総合モチーフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デッサンをする意味</li> <li>・短時間把握(クロッキー)の習慣</li> <li>・いろいろな形態を単品または組み合わせで表現する</li> <li>・幾何形態 石膏</li> <li>・素材の違いを表現する 金属、木材、布、ガラス</li> <li>・講評会(生徒同士で行う)</li> </ul>	11
5月			10
6月	空間のデッサン 全体講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数のモチーフを配置(自分達で構図を考える)</li> <li>・構図のとりかた、空間の表現を意識して描く。</li> </ul>	11
7月			10
8月			
9月	<2パート> デッサンとは何か 鉛筆デッサン 総合モチーフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デッサンをする意味</li> <li>・短時間把握(クロッキー)の習慣</li> <li>・いろいろな形態を単品または組み合わせで表現する</li> <li>・幾何形態 石膏</li> <li>・素材の違いを表現する 金属、木材、布、ガラス</li> <li>・講評会(生徒同士で行う)</li> </ul>	11
10月			12
11月	空間のデッサン 全体講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数のモチーフを配置(自分達で構図を考える)</li> <li>・構図のとりかた、空間の表現を意識して描く。</li> </ul>	12
12月			10
1月	空間のデッサン 卒業制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数のモチーフを配置(自分達で構図を考える)</li> <li>・構図のとりかた、空間の表現を意識して描く</li> </ul>	10
2月			11
3月			9
合計			117

# 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	竹野 秀治		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	インテリア実習B(1学期 ウッドクラフト 2学期・3学期 構造力学)		
使用教科書			
指導学年・学科	3学年インテリア科		
単位数	3単位		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木質系材料を使用したクラフト作品の制作を通し、ものづくりへの興味と関心を高める。</li> <li>・建築系進学者を対象に構造力学の基礎を学び、建築物の安全について興味と関心を高める。</li> </ul>		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木質系材料を使用したクラフト作品の加工技術の習得と質感表現が出来たか。</li> <li>・構造力学の基礎が習得出来たか。</li> </ul>		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	ウッドクラフトのコンペ 出展作品の制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに基づいたコンセプト設定</li> <li>・市場調査</li> </ul>	11
5月	ウッドクラフトのコンペ 出展作品の制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイディアのまとめ</li> <li>・模型制作</li> </ul>	10
6月	ウッドクラフトのコンペ 出展作品の制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作</li> </ul>	11
7月	ウッドクラフトのコンペ 出展作品の制作と講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作</li> <li>・作品講評</li> </ul>	10
8月			
9月	構造物と力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構造物とは</li> <li>・支点と荷重の種類</li> </ul>	11
10月	構造物と力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反力について</li> </ul>	12
11月	構造物と力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静定ばりの応力について(単純ばりの応力、片持ちばりの応力)</li> </ul>	12
12月	構造物と力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静定ラーメンの応力について(片持ちばり系ラーメンの応力、単純ばり系ラーメンの応力)</li> </ul>	10
1月	構造物と力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静定トラスの応力について</li> </ul>	10
2月	部材の断面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の性質について(応力度、変形、弾性係数、許容応力度)</li> </ul>	11
3月	部材の断面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・断面の性質について(断面1次モーメント2次モーメント、断面係数、応力度)</li> </ul>	9
合計			117

# 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	齋藤 俊博		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	インテリア実習B(施工班)		
使用教科書			
指導学年・学科	3学年インテリア科		
単位数	3単位		
科目の目標	洋間の一室を実際に作る中から建築物の構造やインテリア施工の実際を学ぶ		
評価の観点	各工程において、道具に対する知識や技術を身に付けることができたか。手順の因果関係を理解できたか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	内装材の構成と工法 (前班)	1820(幅)×910(奥行)×1800(高さ)の内装模型を実際に製作する。 製材・工具調整 建築施工に必要な工具の知識と理解	11
5月		部材の加工(土台・柱・梁・間柱) 建築特有の加工法の理解	10
6月		組立・筋違取付・金物取付・根太・胴縁・野縁・耐震を考えた建築金物の知識 開口部(窓)取付 アルミサッシの寸法体系の理解	11
7月		内装材(PB・フローリング・天井材) 仕上げ材の種類 造作材(幅木・廻り縁)取付・仕上げ	10
8月			
9月	内装材の構成と工法 (後班)	1820(幅)×910(奥行)×1800(高さ)の内装模型を実際に製作する。 製材・工具調整 建築施工に必要な工具の知識と理解	11
10月		部材の加工(土台・柱・梁・間柱) 建築特有の加工法の理解	12
11月		組立・筋違取付・金物取付・根太・胴縁・野縁・耐震を考えた建築金物の知識 開口部(窓)取付 アルミサッシの寸法体系の理解	12
12月		内装材(PB・フローリング・天井材) 仕上げ材の種類 造作材(幅木・廻り縁)取付・仕上げ	10
1月	卒展に向けての プレゼンテーション	卒展での展示に向けて製作の概要をパネルにまとめる	10
2月		平面図・断面図・立面図をCADで整理	11
3月		製作風景の写真の整理・レイアウト	9
合計			117

# 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	竹野 秀治		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	インテリア装備		
使用教科書	インテリア装備		
指導学年・学科	3学年インテリア科		
単位数	2単位		
科目の目標	建築設備・インテリア関連法規を中心にインテリア装備に関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。		
評価の観点	設備機器・リフォームへの関心と意欲的な取組みが図られているか。 知識の習得とその活用法を生み出せているか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	建築(住宅)史	建築の歴史を知ることで、環境と建築・設備の関心を高める。	6
5月	給排水設備	地球環境の現状と建築設備の関わりを学ぶ。給排水設備の基礎知識。	8
6月	空気調和設備	空気調和設備の基礎知識。	8
7月	電気設備・その他の設備	電気・その他の設備機器の基礎知識	6
8月			
9月	インテリア関連法規	インテリア・インテリアコーディネート及びリフォームの理解を深めるため、関連のある法規を学ぶ。	7
10月	建ぺい率・容積率	建ぺい率・容積率の練習問題を解きながら学ぶ。	8
11月	高さ制限	北側斜線などの練習問題を解きながら学ぶ。	8
12月	開口部・階段・内装制限	階高や採光制限の練習問題を解きながら学ぶ。内装制限の基礎知識を学ぶ。	7
1月	キッチン	実際のキッチンリフォームを学び・手順や知識を得る。	6
2月	トイレ	実際のトイレリフォームを学び・手順や知識を得る。	8
3月	浴室・その他の室	実際の浴室リフォーム等を学び・手順や知識を得る。	6
合計			78



## 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	川合 まさ子		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	インテリアコーディネーターA		
使用教科書			
指導学年・学科	3学年インテリア科(選択)		
単位数	2単位		
科目の目標	インテリアコーディネーターの資格取得を目的に、「販売編」における分野の総合的な知識を身につけさせる。 出題傾向の把握から基礎力・応用力の養成を図る。		
評価の観点	各単元における知識を複合的に理解しているか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	インテリア販売・インテリアの歴史	・コンサルティング ・積算・見積もり・マーケティング ・日本、西洋の歴史	6
5月	インテリア計画	・人間工学、寸法計画 ・住居空間の設計・健康、安全、バリアフリーのための計画 ・模擬問題演習と過去問題の宿題	8
6月	色彩と造形	・色彩 ・造形	8
7月	家具・ウインドウトリートメント	・家具 ・家具金物・ウインドウトリートメント	6
8月			
9月	各種エレメント	・エクステリア・グリーン ・テーブル、キッチン用品 ・模擬問題演習・『インテリアコーディネーター1次過去問題徹底研究』を用いて実践的に指導する。試験に即した実際の時間で予想問題を解く	7
10月	試験のまとめ	・1次試験事前指導と自己採点 ・2次試験の概要と対策 ・プランニング指導。過去問題から解法と演習を行う。	8
11月	2次試験対策	・2次試験 論文・プレゼンテーション対策(立面図、展開図、パース図、アイソメ、アクソメ)	8
12月	2次試験対策	・2次試験 論文・プレゼンテーション対策の模擬試験を行う。 ・2次試験後の模範解答作成。	7
1月	インテリア演習	・店舗設計 ・二次試験対策で学習した室内パースを元に、1/50スケールの模型を制作し発表する。	6
2月	インテリア演習	・店舗設計 ・二次試験対策で学習した室内パースを元に、1/50スケールの模型を制作し発表する。	8
3月	インテリア演習	・インテリアショールーム見学	6
		合計	78

## 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名		竹野 秀治	
教科の名称		工業(インテリア)	
科目の名称		インテリアコーディネーターB	
使用教科書			
指導学年・学科		3学年インテリア科(選択)	
単位数		2単位	
科目の目標		インテリアコーディネーターの資格取得を目的に、「技術編」における分野の総合的な知識を身につけさせる。 出題傾向の把握から基礎力・応用力の養成を図る。	
評価の観点		各単元における知識を複合的に理解しているか。	
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	構造と施工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築構造</li> <li>・下地と仕上げ、造作</li> <li>・模擬問題演習と過去問題の宿題</li> </ul>	6
5月	材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築材料</li> <li>・仕上げ材・塗料</li> <li>・模擬問題演習と過去問題の宿題</li> </ul>	8
6月	建具・環境工学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建具・建具金物</li> <li>・熱と湿気、換気と通風</li> <li>・音・採光と照明</li> </ul>	8
7月	住宅設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷暖房、空調設備</li> <li>・給排水設備</li> <li>・キッチン、サニタリーの設備機器・模擬問題演習</li> </ul>	6
8月			
9月	建築関連法規・消費者関連法規	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築基準法</li> <li>・その他の建築関連法規・消費者関連法規</li> <li>・模擬問題演習・『インテリアコーディネーター1次過去問題徹底研究』を用いて実践的に指導する。試験に即した実際の時間で予想問題を解く</li> </ul>	7
10月	試験のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次試験事前指導と自己採点</li> <li>・2次試験の概要と対策</li> <li>・プランニング指導。過去問題から解法と演習を行う。</li> </ul>	8
11月	2次試験対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2次試験 論文・プレゼンテーション対策(インテリア平面図の作成)</li> </ul>	8
12月	2次試験対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2次試験 論文・プレゼンテーション対策の模擬試験を行う。</li> <li>・2次試験後の模範解答作成。</li> </ul>	7
1月	インテリア演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗設計</li> <li>・2次試験対策で学習した室内パースを元に、1/50スケールの模型を制作し発表する。</li> </ul>	6
2月	インテリア演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗設計</li> <li>・2次試験対策で学習した室内パースを元に、1/50スケールの模型を制作し発表する。</li> </ul>	8
3月	インテリア演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリアショールーム見学</li> </ul>	6
		合計	78

## 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	松本和樹		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	インテリアコーディネート演習		
使用教科書			
指導学年・学科	3学年インテリア科(選択)		
単位数	2単位		
科目の目標	これまで学んできたインテリアコーディネートの知識をもとに 実際の技術や理論を経験的に身に付ける。		
評価の観点	各単元における知識を複合的に理解しているか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時 間数
4月	テーマの設定 初期設計	・家族像、住宅の形式、規模、立地、現代のライフスタイルの傾向からテーマを設定する ・提案内容を踏まえた設計図面を作成する	2
5月	模型の作成	様式に沿った模型の作成を行う	8
6月	模型の作成	様式に沿った模型の作成を行う	8
7月	プレゼンテーション	・テーマとその計画について、授業内でプレゼンテーションを行う ・意見を出し合い、計画を見直す	4
8月			
9月	テーマの設定 初期設計	・家族像、住宅の形式、規模、立地、現代のライフスタイルの傾向からテーマを設定する ・提案内容を踏まえた設計図面を作成する	8
10月	模型の作成	様式に沿った模型の作成を行う	8
11月	模型の作成	様式に沿った模型の作成を行う	8
12月	プレゼンテーション	・テーマとその計画について、授業内でプレゼンテーションを行う ・意見を出し合い、計画を見直す	6
1月	プレゼンテーション	・効果的な展示計画・プレゼンテーションを学ぶ	6
2月	まとめ	・卒展において住宅設計班として模型の提案を行う ・そのための設営方法や展示計画を行う	6
3月			
		合計	64

# 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	森田 聡		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	インテリア技術A(水曜選択)		
使用教科書			
指導学年・学科	3学年インテリア科(選択)		
単位数	2単位		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリアに関連する描写手法を実践的に理解し、伝達技術や表現を身に付け、インテリアデザインへの興味・関心を高める</li> <li>・インテリアの描写・表現、及び伝達技術に関する課題を自ら発見し、解決する力を養う</li> <li>・インテリアに関する描写・表現、及び伝達技術の向上させ、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う</li> </ul>		
評価の観点	<p>&lt;知識・技能&gt;描写手法の知識、及び描写表現の技術的な習得</p> <p>&lt;思考力・判断力・表現力&gt;対象物の見方・考え方及び表現について理解</p> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度&gt;対象物の観察、及び描写への関心と主体的かつ協働的な取</p>		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	静物デッサン①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短時間で対象物や事象の捉え方を把握する。</li> <li>・対象物や事象についての伝達表現方法を習得する。</li> <li>・立体的なものの見方・考え方を理解する。</li> </ul>	6
5月	静物デッサン①・講評 静物デッサン②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短時間で対象物や事象の捉え方を把握する。</li> <li>・対象物や事象についての伝達表現方法を習得する。</li> <li>・立体的なものの見方・考え方を理解する。</li> <li>・講評や作品を検討し合い、様々な伝達表現について知る。</li> </ul>	8
6月	静物デッサン②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短時間で対象物や事象の捉え方を把握する。</li> <li>・対象物や事象についての伝達表現方法を習得する。</li> <li>・立体的なものの見方・考え方を理解する。</li> </ul>	8
7月	講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講評や作品を検討し合い、様々な伝達表現について知る。</li> </ul>	6
8月			
9月	構成デッサン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象物や事象の捉え方を把握する。</li> <li>・対象物や事象についての伝達表現方法を習得する。</li> <li>・立体的なものの見方・考え方を理解する。</li> </ul>	7
10月	講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケッチからインテリアデザインへ発展させる。</li> <li>・お互いの作品を検討し合い、様々な伝達表現について知る。</li> </ul>	8
11月	着色表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象物や事象の捉え方を把握する。</li> <li>・対象物や事象についての伝達表現方法を習得する。</li> <li>・立体的なものの見方・考え方を理解する。</li> </ul>	8
12月	講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケッチからインテリアデザインへ発展させる。</li> <li>・講評や作品を検討し合い、様々な伝達表現について知る。</li> </ul>	7
1月	表現研究 講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象物や事象の捉え方を把握する。</li> <li>・対象物や事象についての伝達表現方法を習得する。</li> <li>・立体的なものの見方・考え方を理解する。</li> <li>・立体感・空間感・陰影・材質感・固有色などを考慮し細部まで描写することで表現の幅を広げる。</li> <li>・講評や作品を検討し合い、様々な伝達表現について知る。</li> </ul>	6
合計			64

# 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	竹野 秀治		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	インテリア技術B		
使用教科書			
指導学年・学科	3学年インテリア科		
単位数	3単位		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立体物の制作を通し立体的なもののとらえ方を養い、その素材や加工法も学ぶ。</li> <li>・設計競技に挑戦し、デザインの興味と関心を高める。</li> </ul>		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインへの関心と意欲的な取り組み</li> <li>・設計手法の知識と表現・製図の技術的な習得</li> <li>・インテリアデザインに関する理解と関心</li> </ul>		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	立体作品の制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケッチ画よりアイデチアの立案</li> <li>・アイデチアをもとに素材の選択</li> </ul>	11
5月	立体作品の制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加工方法、制作手順の計画</li> <li>・模型及び図面化し細分検討</li> </ul>	10
6月	立体作品の制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作</li> </ul>	11
7月	立体作品の制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作</li> </ul>	10
8月			
9月	立体作品の制作と講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作</li> <li>・講評</li> </ul>	11
10月	設計競技会参加 コンセプト立て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計競技の内容・状況の把握</li> <li>・コンセプトの重要性を知る</li> </ul>	12
11月	設計競技会参加 スケッチ画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンセプトにあったスケッチ画を起こし、デザインを発展させる</li> <li>・平面から立体イメージにずれがないかの確認</li> </ul>	12
12月	設計競技会参加 ラフ模型制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンセプトにあったスケッチ画を起こし、デザインを発展させる</li> </ul>	10
1月	設計競技会参加 ラフ図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再度、図面化し細部の検討する。</li> </ul>	10
2月	設計競技会参加 レイアウト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出するボードを制作する</li> </ul>	11
3月	設計競技会参加 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションの発表を行う</li> <li>・計画をもとに実制作</li> </ul>	9
		合計	117

# 令和4年度 年間授業計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	喜多崎薫		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	インテリア技術C(木曜選択)		
使用教科書			
指導学年・学科	3学年インテリア科(選択)		
単位数	2単位		
科目の目標	・デザインコンペティションに参加することで、問題点とその解決方法を考察し、アイデアの構築からプレゼンテーションまでの一連のデザインワークを身につけることを目指す。		
評価の観点	<情意> デザインと社会の関係について興味を持ち意欲的な取り組みをする <知力> デザイン構築の手法と知識の習得 <技能> プレゼンテーションの技術的な習得 <認知> インテリアデザインや空間デザインに関する理解		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	デザインコンペ参加 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマにもとづき問題点を探りコンセプトを立案する。</li> <li>・コンセプトにもとづきデザインによる問題解決方法を探る。</li> <li>・具体的なデザイン提案を作成する。</li> <li>・コンセプトの重要性を知り、デザインをブラッシュアップする。</li> <li>・効果的な提案方法を見つけ、デザイン素材を製作する。</li> <li>・プレゼンテーションツールを作成する。</li> </ul>	6
5月			8
6月			8
7月	プレゼンテーション 講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマやコンセプトについて、わかりやすい伝達表現方法を習得する。</li> <li>・お互いの作品を検討し合い、様々な伝達表現について知る。</li> </ul>	6
8月			
9月	デザインコンペ参加 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマにもとづき問題点を探りコンセプトを立案する。</li> <li>・コンセプトにもとづきデザインによる問題解決方法を探る。</li> <li>・具体的なデザイン提案を作成する。</li> <li>・コンセプトの重要性を知り、デザインをブラッシュアップする。</li> <li>・効果的な提案方法を見つけ、デザイン素材を製作する。</li> <li>・プレゼンテーションツールを作成する。</li> </ul>	7
10月			8
11月			8
12月	プレゼンテーション 講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマやコンセプトについて、わかりやすい伝達表現方法を習得する。</li> <li>・お互いの作品を検討し合い、様々な伝達表現について知る。</li> </ul>	7
1月	インテリアにおける プレゼンテーション演習 講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリアデザインに関する理解をもとに演習を行なう。</li> <li>・テーマやコンセプトについて、わかりやすい伝達表現方法を習得する。</li> <li>・お互いの作品を検討し合い、様々な伝達表現について知る。</li> </ul>	6
2月			8
3月			6
		合計	78